

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

三春わが街

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

■コミュニティだより

VOL. 97 (年4回発行)

■発行日 令和2年9月30日
■発行 三春まちづくり協会
■編集 三春まちづくり協会広報部会
三春町大字貝山字泉沢100-1(旧若駒寮)
TEL/FAX (62) 3988

テーマ 《みんなで支え合う まちづくり》

去る八月二十五日、三春交流館「まほら」ホールにおいて介護保険事業講演会「みんなで支え合うまちづくり」が開催され、講師には、公益財団法人さわやか福祉財団、岡野貴代氏、にこにこ元氣塾管理者&生活支援コーディネーター兼務、担当地区(三春地区、岩江地区)の神山光寿氏が「生活支援コーディネーターの活動について」の講演会が、町民百三十名参加のもと開催されました。



【紙面上の関係上、講演内容等を要約して掲載しますのであらかじめご了承ください。】

講師 岡野 貴代
全国の将来推計人口とサービスタ手不足。

■今後の生活支援ニーズの拡大と人材不足
予防給付の対象者は、身体介護ではなく、調理・買い物・洗濯・掃除等の生活支援を必要とするケースが大半。
今後、高齢者の単身・夫婦のみ世帯が増加するに伴い生活支

援ニーズはこれまで以上に拡大していく。
◎生活支援ニーズの増加に対してホームヘルパー中心に介護人材が不足する。
今後、認定者が増加する一方で、担い手である生産年齢人口は減少していく。
増大する生活支援ニーズに対し、その大部分を従来通りホームヘルパーが担っていくことは人材面で立ちいかない状況になっていくことが予想される。
※人生百年時代では、若い人が高齢者を支えることは難しい。年齢に関係なく「おたがいさま」で、出来る人が出来る事で支え合うという発想を、子供から高齢者まで持つことが必要。
■介護給付と保険料の推移
平成十二年(第一期、二千九百一十円)から平成三十年(第七期、五千

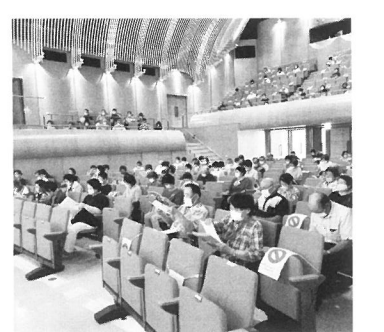
七百八十四円)まで、十八年間で二・五倍増になり、更に二十年後には、約九千二百円になると予想される。
需要と供給のバランスをとり介護保険に頼らず自分たちで、できる事は自分たちでやっていく、どうしても困ったときにだけ介護保険に頼る、そういった発想の転換ができれば三春町ももう少し抑えられるのではないかと

○協議体
生活支援コーディネーターとともに、地域の支え合いを推進するチーム。
地域で安心して暮らすために、やる気のある住民の皆さんや、地域の団体が参加し、必要なことで、自分たちができる事を話し合う。
◎最後まで地域で暮らすには「おたがいさま」の助け合いを広げましょう

現状の課題
友人・隣人との交流支援や介護が必要になると、友人・隣人との関係は希薄になり、支援を受ける一方の人間関係に変化。
専門職サービスは
あるけど：
これまでの地域とのつながりは疎遠に？
これからの
専門職サービス
★一緒に体操
★お掃除のお手伝い
★おかずをおすそ分け
★一緒にお買い物
★近所同士で茶屋会
「お互い様の助け合い」の輪を広げていくことで、支援や介護が必要になっても、地域社会の中から切り離されず、なじみの関係を継続できる。
集いの場の効果
※定期的に顔を合わせる。
※参加者同士で話せる関係づくり(茶話会の併設等)。

＊お互いが知り合い、つながりが生まれる。
＊お互いを気遣うようになる(あの人が今日は来ていないね、困っているなら私がやるよ)。
＊できる範囲で、お互いの自然な助け合いにつながる(話を聞く、買い物を手伝う等)。
＊助け合いが、生きがいや社会参加につながる。

講師 神山 光寿
生活支援コーディネーターとは
地域に必要で、皆さんのやりたい活動の実現に向けて、みなさんをサポートしていくことが仕事です！
※具体的には：
①地域のニーズ把握
②地域の活動団体、社会資源の把握
③地域の必要な活動(活動の場・居場所等)の創出
④地域へ情報提供し、利用したい人と活動者のマッチング
⑤地域のネットワークづくり
などを、皆さんと話し合いの場を設けながら進めていきます。
※支え合い活動って何？
※支え合いの活動には次のようなものがあります。
※見守り活動
挨拶や声かけ、訪問等、地域で見守る活動



三春町に、あなたの地域に支え合いの花を咲かせましょう！

《初心に聴く》

シリーズ ⑬

今年も、多くの方々が三春まちづくり協会のスタッフとして加わり、協会運営にご協力いただき、ことになりました。本号では、新任委員の方々から『まちづくり協会活動に携わる初心』をお聴きし、協会へ新たな息吹を感じさせていただくこととしました。

福祉部会

柴 佳代子さん

新型コロナウイルスが猛威を振るう中で日々の暮らしが、様々な形で影響を受け、この状況をどう耐え忍ぶかを試されている現状。

まちづくり福祉部会に任命され正直戸惑っております。福祉部会の主な活動は、町民の方が元気で、健やかに暮らせるまちづくり活動です。三春町は福島県で一番健康でお元気なお年寄りが多い素晴らしい町です。この町に住んでいることを誇りに思いながら一人一人は微力でも私たちが心ひとつに希望を持ち自分ができることを実践すれば必ず乗り越えられると信じ、まちづくり活動に参加したいと思えます。感染症が終息し、一日も早く安心して皆さんと活動できることを心待ちにしております。

生涯学習部会

遠藤 勝美さん

この度、三春まちづくり協会、生涯学習部会委員となりました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮して総会は開かず書面決議となった為、資料を拝見した所、この生涯学習部会というのには「夢を持ち豊かな心が育つまちづくり活動」を行う部会です。

活動内容は、児童生徒の安全を守る運動、三春小学校放課後まほらっ子教室への協力等などが、記載されていきました。社会が急激に変化していく中で、子供たちが変化を前向きに受け止め、持続可能な社会の創り手として、未来を自立的に「心豊かで思いやりのある子供たち」のサポートを、微力ながら少しでも貢献できるように精一杯頑張りたいと思います。

生涯学習部会

平山 聡さん

もう昔の話になってしまいました。子育ての最中は、無我夢中だったように思います。何事も子供中心の生活だった。ところが、残念なことに最近では虐待や殺人などのニュースが新聞やテレビでよくみられる。どうしてそんなことができるのか理解ができない。その言いながらも、振り返ってみると、子供が言うことを聞いてくれない時などは、同じような気持ちになったように思

ます。ただ最近特に多いように感じています。交通事故や死亡事故を無くするなどのキャンペーンはよく耳にしますが、実際は自殺者の数の方が多い。同じように、目立たない把握できないなどの理由はあるものの、虐待だけは周りの大人が気付いてあげて、無くさなくてはいけないと思います。まして、将来有望な大事な子供を、自殺にまで追い込ませるなんて、とんでもないことだと思います。

地域部会

加藤 佐智子さん

この度、みんなで築く、繋がりのある、まちづくり活動に参加することにになりました。

活動の主な目的は、散策路踏査、散策ウォーク、案内板設置など知りました。案内板や破損箇所が明記されていること、初めて訪れる方も安心して楽しむことができると思います。

以前より先輩の皆様が整備されていることがわかりました。お城山は四季折々最適な場所です。また、三春町に美しい花の公園の計画も聞いており、散策路ウォークが楽しみです。現在、元三春中学校の跡地が観光客や各種イベントの際、公共駐車場として利用されていますが、付近には公衆トイレがあ

りませんので、設置されたいと思います。これから地域のことを知る為にも、参加していきたいと思えます。

広報部会

吉村 剛さん

今私ができる事 昔の町内は商店や住宅が立ち並び賑わいを見せる城下町でした。町民も多く、活気がありましたが、今は少子高齢化が進んでいる中、私ができる事は何かと考えると仕事を通じて皆さんの役に立てるよう頑張ることです。

また、字や町の行事に参加する事で、人と人の繋がりを大切にして、輪ができる事でまちづくりに貢献できると思っています。しかし、現在も今後新型コロナウイルスの影響で、外出自粛の為、人と人の会話もままならない状態が続くと思えます。今は何とか仕事が出来てますが、もし私がコロナウイルスに感染したらと思うとぞっとします。家計はいき詰まり、路頭に迷うかもしれない、今こそ町民が一丸となって、この危機を乗り越えましょう。そして大切な人を守りましょう。

地域部会

山代 常勝さん

三春に住んで二十五年以上たちましたが、三春まちづくり協会の活動内容は、恥ずかしながらよく知らずにお

りました。この度の字役員改選で地域部会担当となりました。まちづくり協会総会資料をいただき、散策路関係が主たる活動内容と知りました。

私は、休日時々犬の散歩を兼ねて夫婦でお城山や散策路を、よく活用しています。豊かな自然の中を通り、神社やお寺の近くを巡り、心と整備された路は、安心して歩くことができ、緑と触れ合い、ひととき歴史に思いを馳せリフレッシュできる癒しの場の一つになっています。

これを機に三春の魅力を再発見し、部長はじめ会員の皆様のご指導をいただきながら、微力ながらできることからコツコツと保全活動に参加していきたいと思えます。何卒宜しくお願い致します。

地域部会

羽賀 敏則さん

町民の皆様初めまして、私は、令和二年四月より三春まちづくり協会地域部会副部長になりました。た芳賀敏則です。みんなが築くつながりのあるまちづくり活動のもと、散策路危険箇所確認、案内板設置、散策路ウォークなど部会の皆様と今年度から一年お世話になります。

又、散策路危険箇所の確認、案内板設置、散策路ウォークなど、今まで通り安心、安全怪我などが起こらない様に活動

していただきますので宜しくお願い致します。

福祉部会

荒井 しづさん

今年度から「三春まちづくり協会」の福祉部会に委嘱されました。名称は知っていましたが、内容や活動は、あまり知りませんでした。福祉部会は「元気で健やかに暮らせるまちづくり活動」を行うとなっております。

しかし、今年度のスタートは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、いくつかの活動が、中止や延期になってしまいました。「ステイホーム」を余儀なくされる現状の中で、何が出来るのかなと、考えています。こんな時だからこそ人と人とのつながりがとても大事だと思えます。

体の元気は、もちろんですが、心の元気は、もっと大切だと思います。一人の力は微力ですが、先輩の皆さんに教えていただきながら、少しでもお役に立てたらと思えます。どうぞ宜しくお願い致します。

街並部会

加藤 康子さん

広報「三春わが街」を拝読しながら、三春まちづくり協会委員の方々の活躍に敬意を表しておりました。ところがこの度、究極のボランティアである字委員を拝命することになりますと、様々な団体の委員にリンクしていることが判明いたし

編集後記

三春まちづくり協会委員もさかたです。事務局の栗原さんから「街並部会にお願いします。面白い部会ですよ。街並部会は石柱を設置し石柱拓本ラリー等の活動をしています。」との電話がありました。広報を思い浮かべ、ラリーの記事が蘇ってきました。私自身、古稀を迎え立派な高齢者ですが「情けは他人の為ならず」を肝に銘じ先輩方のご指導を賜りながら、足手まといにならないよう皆様の一員に加えていただき、楽しく活動していきたいと思えます。

新型コロナウイルス感染症拡大が懸念される中、地域のほとんどのイベントが中止になったり、不要不急の外出が制限され、経済や生活様式が大きく変化して来ましたが不安な気持ちと口から出る負の言葉は物事を肯定的に考えられず日々過してしまいますが、こんな時だから、これから起きるどんな出来事にも負けず、前を向いて明るく楽しく笑って生きて行こうと思えます。必ずコロナの終息と経済回復を願って!!!!!! (今泉 栄治)

コミュニティだより
三春わが街 第九十七号
発行日 令和二年九月三十日
発行 三春まちづくり協会
編集 三春まちづくり協会
広 報 部 会
三春町大字山代二〇〇一
(六二)三九八八